

(2) 北部地域の整備方針

1) 地域特性と課題

〇人口：12,070人、世帯数：4,953世帯（平成27年国勢調査）

本地域は、大洗駅を中心に商業、住宅地が立地し、一部に工業地が見られ、市街化が進んでいます。また、海岸沿いに海岸公園、アクアワールド茨城県大洗水族館、大洗磯前神社、ゴルフ場、サンビーチなど、広域的な観光資源が集積している地域でもあります。

今後は、都市サービスの充実を図るとともに、観光施設、地域の歴史資源を活かした賑わいあるまちづくりが求められます。

土地利用	〇地域南側は既成市街地が広がる市街化区域、地域北側は大洗海岸公園、アクアワールド茨城県大洗水族館、ゴルフ場などスポーツレクリエーション施設が立地する市街化調整区域となっている。 〇明神町～寺釜の浜通りは漁村集落形態が残っている。 〇角一大洗線は髭釜、永町を中心に小売店が連続し、生活必需品を中心とした業種業態となっている。 〇主要地方道水戸鉾田佐原線は観光施設へのアクセス路となっていることから、郊外型の沿道施設の立地が目立つ。 〇若見屋平戸線沿道は商店が点在しているが空地や空き店舗も多く見られる。 〇五反田地区の一部で住工混在が見られる。 〇港湾地区の一部や主要地方道水戸鉾田佐原線沿道で未利用地が見られる。 〇港中央地区では港湾施設が立地しており、閉鎖された空間となっている。
道路	〇海と平行した道幅が狭く湾曲している町道があり、交通安全性に課題がある。 〇海に向かい数多くの路地が発達している。 〇海水浴シーズン等になると海に向かう道が渋滞する。
景観	〇商店街には、蔵造りの商家が見られるなど、かつての街道沿いのまちなみが一部残っている。 〇大洗海岸公園やゴルフ場は広大な緑地となっており、県道大洗公園線は松林と海が続くまちの象徴的な空間を形成している。 〇内陸は丘陵地があり良好な斜面緑地が形成されている。
その他	〇港中央地区周辺に町役場、文化センター、中央公民館、交番、郵便局など公共サービスが集積している。 〇海岸沿いにアクアワールド茨城県大洗水族館、大洗海岸、大洗磯前神社、マリインタワー、サンビーチなどの観光施設が点在している。 〇ゴルフ場やテニスコートなどのレクリエーション施設がある。 〇サンビーチは砂浜が拡大し、海岸線が遠くなっている。

2) 地域の将来像

【将来像】

人々の交流から活気生まれる賑わいのある地域

【基本方針】

北部地域はまちの中心として、町民・来訪者の利便性の向上に資する中心拠点や、都市の活力となる港湾・産業拠点、海に関連する観光施設をつなぐ観光軸の形成を図ることにより、広域間、多世代間の交流が育まれる賑わいのある地域を形成します。また、文化、歴史などの北部地域の資源を活用した地域のコミュニティ核を形成することにより、地域文化の継承を図ります。

3) 拠点形成方針

○中心拠点

中心拠点は、大洗駅周辺、駅前海岸線・若見屋平戸線沿線、役場周辺、港湾地区周辺を中核に、地域資源を活用した歩くことを楽しめる歩行環境でネットワークすることにより、周遊性の高い様々な交流が育まれる中心拠点を形成します。また誰もが利用しやすいようにユニバーサルデザインに努めます。

○港湾・産業拠点

漁港や魚市場からフェリーターミナル周辺は、大型車両と歩行者の動線を分離し、より円滑な交通環境を創出します。またフェリーターミナルやマリンタワーなどを中心に大洗町の海の玄関口として大洗観光のインフォメーション機能を強化し、海を身近に感じられる施設のデザイン化に努めます。

○観光軸

アクアワールド茨城県大洗水族館、大洗海岸公園、大洗磯前神社、海産物販売店・飲食店、マリンタワー、サンビーチなどの海沿いの観光施設を海の眺望や連続する松林で結ぶことにより、観光軸を形成します。また観光客の移動の利便性を向上するために公共交通の整備を行うとともに、町営第一駐車場及び駐車場南側敷地の利活用の検討、民間活力の導入を進め、観光軸の魅力を高めていきます。

○居住・都市機能

都市化を促進する区域は、店舗・病院・公共施設などの生活サービス施設を、徒歩あるいは公共交通等で移動できる範囲に集めるとともに、都市化を抑制する区域との公共交通ネットワーク機能の充実を図ります。また、良好な居住環境を形成するために防犯・防災対策に努めるとともに空家の活用、空き店舗の活用を進め、居住・都市機能の向上を図ります。

4) 地域のまちづくり方針

①土地利用

◆観光資源を活かした地域づくり

- 中心商業地は地域のポテンシャルを活用し、観光客をターゲットとした商業地の形成を図ります。
- 主要地方道水戸鉾田佐原線沿道では、周辺の環境に配慮しつつ、生活利便性施設を中心とした沿道型市街地の形成を推進します。また、港中央地区やサンビーチ周辺においては、観光客をターゲットとした魅力的な都市的土地利用の展開を推進します。加えて、地区計画を定めている港中央地区においては、周辺環境の変化をふまえ、将来的な土地利用計画を検討し、見直しを図ります。
- 角一から上宿にかけての夏海大洗線西側の地域の土地利用の検討を行い、必要に応じて市街化区域への編入や地区計画を導入します。
- 二葉地区では、様々な農業形態への対応に向けて、農業基盤の整備を推進するとともに、多様なライフスタイルに対応した良好な居住環境を形成します。

◆市街地の安全性の向上

- 寺釜～明神町の角一大洗線沿道の住商複合地では、安全性の高い市街地の創出に向けて、狭小宅地の解消や建物の不燃化を推進します。
- 都市基盤未整備区域では、地域の憩いの場や安全性の高い環境の創出に向けて、空地の活用を検討します。
- 住宅等の建築物が密集している地域では、災害時の減災を図るため、建築物の耐震化・不燃化を促進します。

◆ゆとりある市街地の形成

- 南清水から蔵前にかけた角一大洗線より海側の地域では、空地の活用を促進し、宅地規模の向上を図ります。

◆生活環境の向上

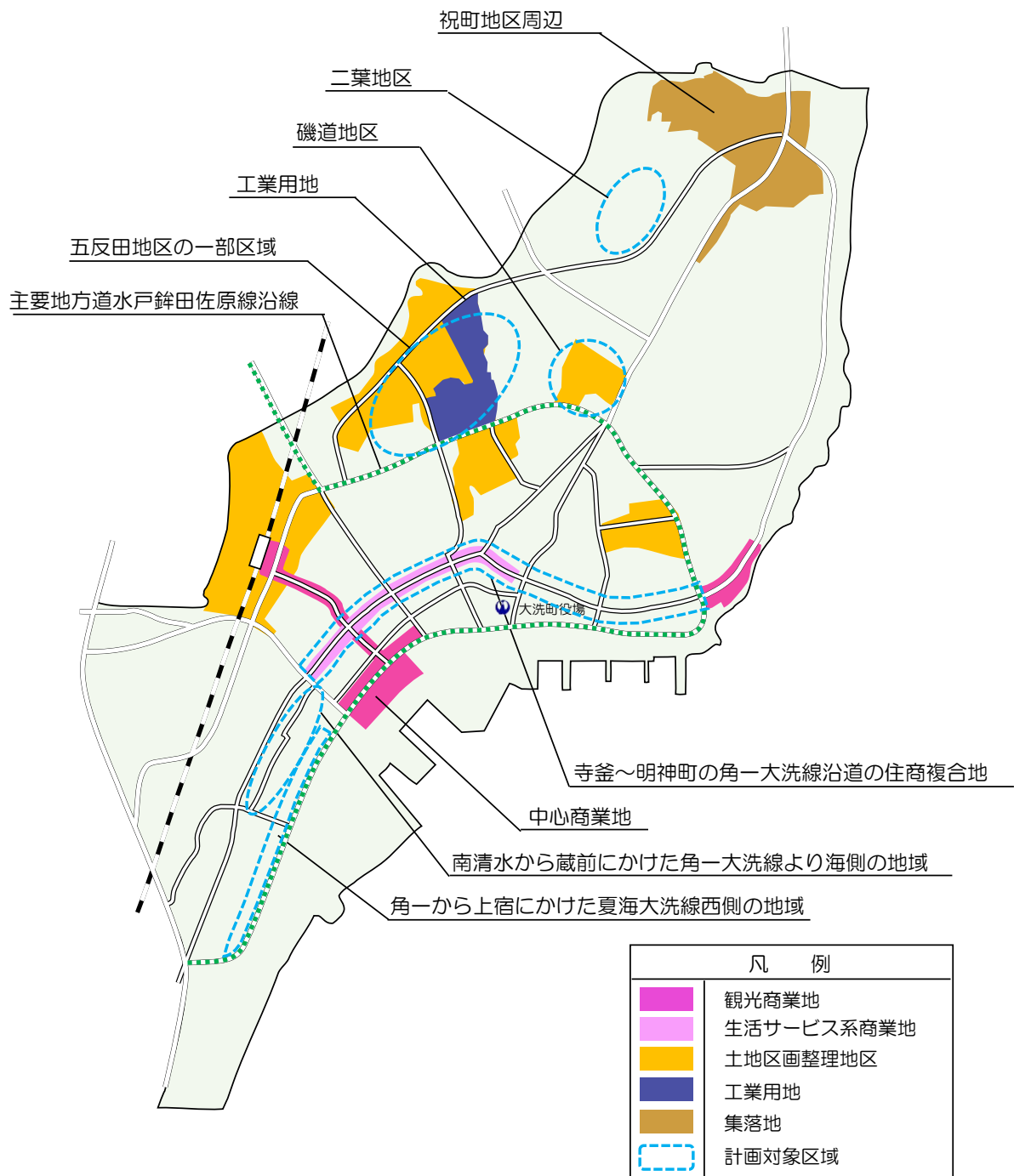
- 五反田地区の一部区域では、工業地が隣接することから、緩衝緑地帯の整備を推進します。
- 祝町地区周辺では、無秩序な開発を抑制し、緑豊かな集落環境を保全します。

◆美しいまちなみの形成

○磯道地区では、宅地化の推進を図るとともに、統一されたまちなみの維持を促進します。

○工業用地では、周辺の住環境に配慮し、緑化を推進するとともに、周辺との調和を図るよう、形態、意匠の統一を促進します。

土地利用方針図



②道路・交通

◆まちのシンボルとなるみちづくり

- 駅前海岸線は、まちの顔となるシンボルロードとして、沿道の賑わいづくりを推進します。
- 県道大洗公園線は、海への眺望や松林などを活かし、景観に配慮した道路環境を保全・創造します。
- アクアワールド茨城県大洗水族館周辺は、落ち着きのある居住環境の維持に向け、観光地と居住地における動線に配慮します。
- 夏海大洗線沿道は、緑道など未利用地の活用を図ります。
- 大洗海浜公園は、マリントワー周辺との一体性を高めるよう、海の潮風を感じつつ楽しめる歩行動線を確保します。

◆海の玄関口となる港づくり

- フェリーターミナルは、広域的な玄関口として、また中心拠点や観光軸への導入路として、まちを象徴する景観形成を推進します。

◆円滑な交通流動を図るみちづくり

- 船渡大洗線は、大貫台地区につながる環状道路として整備を推進します。

◆歩行者の安全性が確保されたみちづくり

- 角一大洗線（寺釜～通町間）は、歩行者の安全性を確保するために、車の通行幅を狭めるなど、車両のスピード抑制に努めることにより、高齢者や子供を含めた全ての歩行者にやさしい道路環境を創出します。
- 角一大洗線より海側の市街地における生活道路では、歩行者にやさしい道路環境を整備します。

◆安全性を高めるみちづくり

- 永町、新町の高台は、居住環境の安全性を高めるよう、生活道路の整備を推進します。整備にあたっては待機所やミラーなどの交通安全施設の設置など、歩行者の安全性の確保に向けた環境整備を推進します。

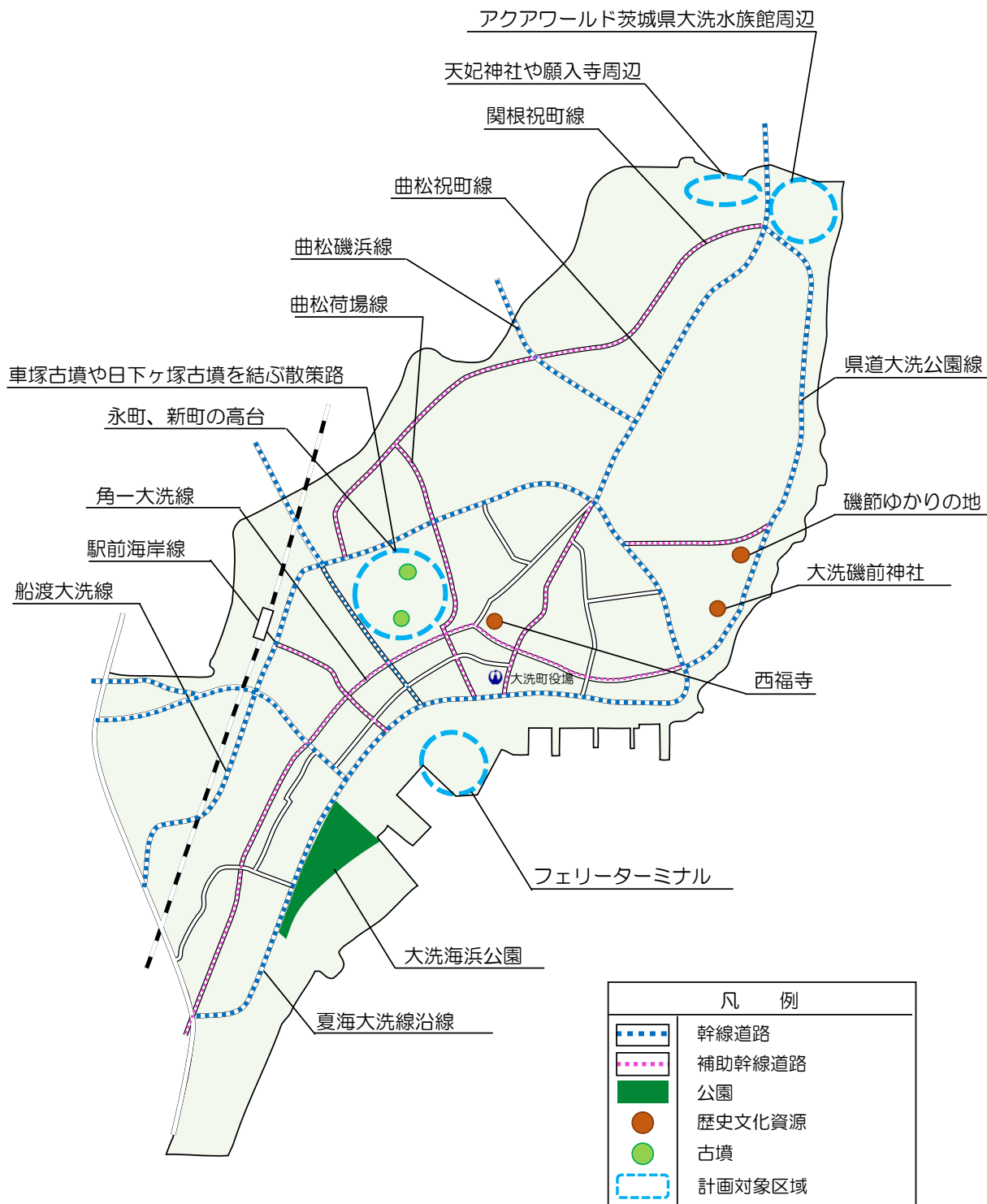
◆地域の歴史、文化が感じられるみちづくり

- 海岸に向かう一部の路地空間は、漁村のまちなみを形成する要素として保全します。
- 歴史文化伝承核として、資源をPRするサインの設置や、大洗磯前神社、西福寺や磯節ゆかりの地など、歴史・文化資源を結ぶ歩行軸を形成します。
- 車塚古墳や日下ヶ塚古墳を結ぶ散策路の整備を推進します。
- 天妃神社や願入寺と水辺プラザ、アクアワールド茨城県大洗水族館を結ぶ散策路を整備します。

◆環境に配慮したみちづくり

- 環境共生型社会構造の形成に向け、まちをネットワークするサイクリングロードやサイクリングスポットの整備を推進します。
- 都市計画道路の整備等に伴い、循環バスの運行ルートを検討します。また、サイクリングロードの整備に伴い、交通ターミナル機能を担うスポットの整備を推進します。

道路・交通方針図



③公園・緑地

◆誰もが利用しやすい公園づくり

- 大洗海岸公園は、風致地区として環境を維持しつつ、誰もが利用しやすい環境の創出に向け、ユニバーサルデザイン化を推進するとともに、利用者ニーズに適合する改善を図ります。
- 大洗海浜公園は、観光軸における起点となるよう、拠点施設からのアクセスを確保するとともに、海への眺望を楽しむことのできる休憩場所などの整備を推進します。
- 住民サービス向上及び観光客等に対するおもてなしを図るため、公園や公衆トイレの整備を推進します。

◆地域にうるおいを与える緑地の保全

- お富士山及び釜口山は、市街地における緩衝帯として、緑地の維持、保全に努めます。

◆特徴を活かした公園づくり

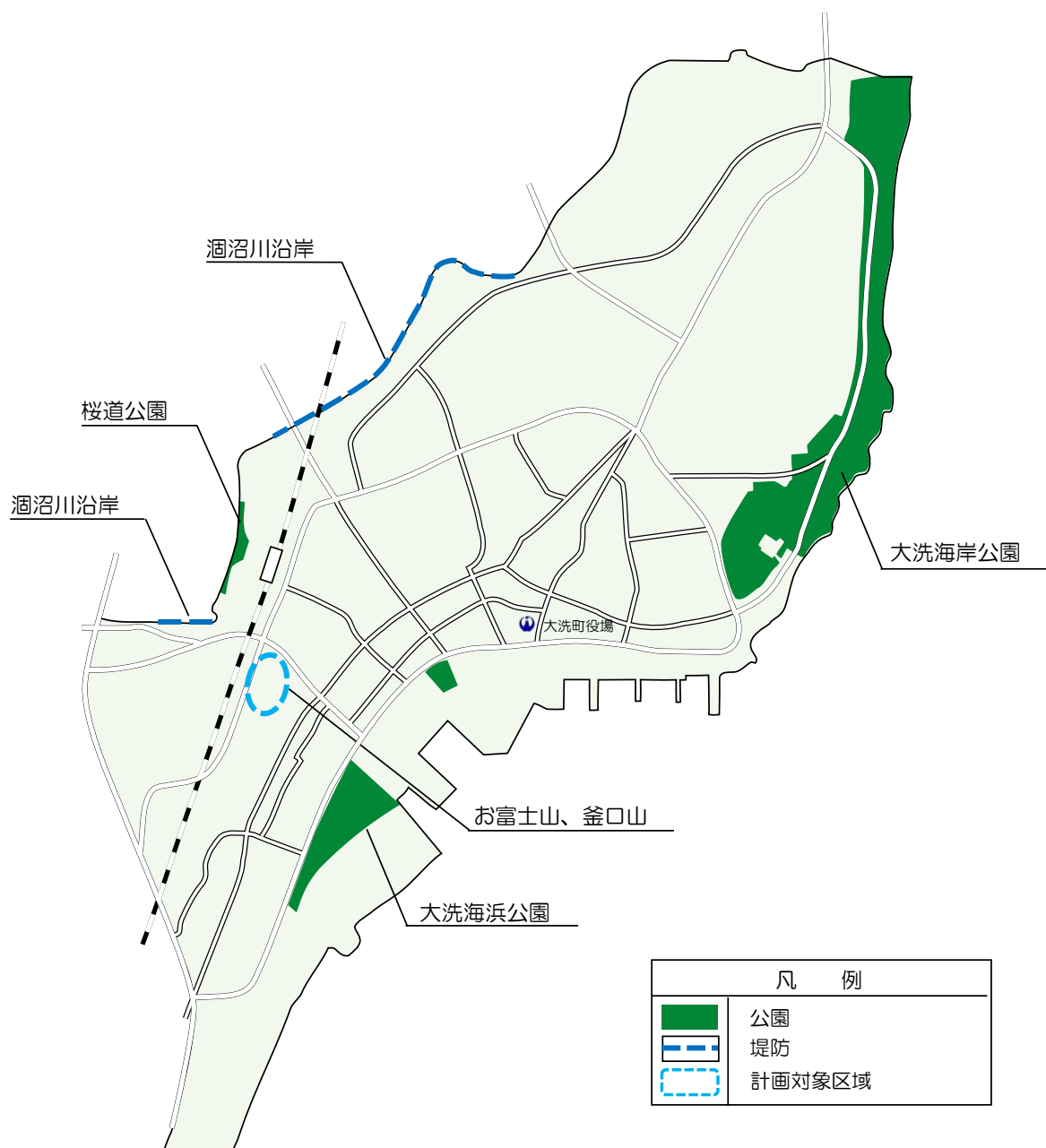
- 桜道公園は、人と水辺が触れ合うことができる空間形成の創出に向けて、親水広場の整備を検討します。

④河川・池沼

◆災害に備えた堤防整備

- 涸沼川沿岸は、治水機能の向上を図れるよう堤防整備を促進します。

公園・緑地、河川方針図



⑤景観

◆まちを象徴する景観づくり

- 駅前海岸線は、シンボルロードとして賑わいのある沿道空間の整備を推進します。
- 宿泊施設や観光資源が集積する宮下地区では、磯節に謳われた風景を保全・活用し、趣を感じることが出来る空間の整備を推進します。
- 大洗駅周辺では、情報・誘導サインの充実や情報施設の整備により、まちをPRする情報空間の整備を推進します。
- 観光資源周辺では、サインやモニュメントの設置、舗装のデザイン化など、施設のPR空間を形成します。また、整備にあたっては自然環境との調和を図るとともに歩行者や車利用者の目線に配慮した整備を推進します。
- 廻沼橋では、大洗町の玄関口としてサインの集約化を図るとともに、橋梁のデザイン化を検討します。
- 幹線道路では、観光施設間における距離感を短縮できるよう、まちの演出を兼ねた誘導サインの設置を図ります。
- 県道大洗公園線沿道では、観光軸を構成する道路として安全性を確保し、松を主体とした並木道を形成します。
- 大洗海岸公園周辺、幕末と明治の博物館や大洗ゴルフ場周辺の緑地は、まちの自然・歴史・文化を満喫できる代表的なスポットの良好な緑空間として、維持・保全に努めます。
- 夏海大洗線では、観光軸を構成する道路として、まちをPRするサインの充実を図るとともに、沿道における構造物のデザイン化を図ります。
- 磯浜地区の高台では、一面に広がる海と、海とともに発展してきたまちなみから形成される景観を楽しむことのできる眺望スポットの整備を推進します。
- 平太郎浜周辺では、朝日や海の眺望を楽しむことのできる景勝地として、視点場（ビューポイント）の整備を推進します。

◆地域の憩いの場となる景観づくり

- 大洗駅と桜道公園を結ぶアクセス路は、桜を基調に統一されたまちなみ空間を形成します。
- 車塚古墳や日下ヶ塚古墳は、誘導サインの設置や案内サインの改善などによりネットワーク化を図り、風土記の丘として、大洗の風土を感じさせる空間を形成します。また、高台から、海や中心市街地に加え遠方の田園集落を一望できる眺望スポットの整備を推進します。
- 路地空間を活用し、趣ある漁村景観の形成を図ります。
- 夏海大洗線は海岸線の美しい景観を演出する松林の保全に努めます。

◆緑豊かな景観づくり

- 旧大貫小学校周辺では、斜面緑地が美しい緑豊かなまちなみの維持を図ります。

⑥その他

- 小中学校は避難施設としての機能も有することから、適切な維持管理に努めます。
- 駅や港湾施設は、まちの情報拠点としてのインフォメーション機能の充実を図ります。
- 町営住宅は計画的な修繕を図るとともに、適正な施設配置を検討します。
- サンビーチ周辺では、サンビーチ津波避難施設を活用し、年間を通じてビーチスポーツ等を楽しむことのできる健康増進の環境づくりを推進します。
- 休耕地（遊休農地）である松ヶ下地区は、周辺環境の調和を図りつつ、新たな土地利用を検討します。

景観方針図

